鳥の劇場2015年度プログラム＜創るプログラム＞

例年5月の大型連休に実施している“大人も楽しめる子どものための上演”を、今回は少し遅らせて行います。
やぎが主役の二つの有名な物語を取り上げます。小さいお子さんから大人まで楽しんでいただけます。
楽しい場面での子どもの笑い声、怖い場面での緊張した息づかい、そういうものの中で演劇を見る体験は、大人にとっても特別な贈り物です。
まだ鳥の劇場に来たことがない方も、是非お運びください。

鳥の劇場
BIRD Theatre Company TOTTORI

演劇が
はじめての人にも
オススメ～

大人も楽しめる子どものための上演

やぎの二つの物語

『おおかみと七ひきのこやぎ』

原作：グリム　構成・演出：中島諒人

『三びきのやぎのがらがらどん』

（北欧民話）作：マーシャ・ブラウン　訳：瀬田貞二　構成・演出：中島諒人

BIRD Theatre Company TOTTORI

The Wolf and the Seven Young Kids

Written by Brothers Grimm
Conceived and Directed by NAKASHIMA Makoto

The Three Billy Goats Gruff

Written by Marcia Brown
Conceived and Directed by NAKASHIMA Makoto

2PM on May 30th, 31st, June 6th and 7th 2015
Place: BIRD Theatre
1812-1 Shikano Shikano-cho Tottori City Tottori Prefecture 689-0405
Ticket
Adult 1,500yen
High School Pupil and Under 500yen
Contact
Telephone 0857-84-3268
E-mail ticket@birdtheatre.org
Web-site www.birdtheatre.org

2015年5月30日（土）・31日（日）・6月6日（土）・7日（日）14時開演

会場／鳥の劇場（鳥取県鳥取市鹿野町　電話0857-84-3268）

鳥の劇場2015年度活動テーマ：戦後70年、設立9年目。広める、深める。「私」、「今」をこえる、想像・連帯の拠点として。

大人も楽しめる子どものための上演
やぎの二つの物語

『おおかみと七ひきのこやぎ』

原作：グリム　構成・演出：中島諒人

『三びきのやぎのがらがらどん』

（北欧民話）作：マーシャ・ブラウン　訳：瀬田貞二　構成・演出：中島諒人

2015年5月30日（土）・31日（日）・6月6日（土）・7日（日） 14時開演

おおかみと七ひきのこやぎ

七匹の小さいやぎたちが、おおかみにおそわれ、最後は母やぎに救われる有名な物語。仔やぎを、俳優が動かす木の人形が演じ、観客席の子どもたちにも協力してもらいながら劇世界が進みます。「夢路より」、「野ばら」など美しい唱歌とともにお送りします。

三びきのやぎのがらがらどん

大中小の三びきのやぎが、草を求めて山に登る途中、橋の下にひそむ化けものトロル（例の"トトロ"の語源です）と出会い、戦うというシンプルな物語。戦いのドキドキ感、トロルのきみ悪さ、やぎたちが勝った後のそう快感を、打楽器とからだであらわします。

大人：1,500円／
高校生以下（未就学児も含みます）：500円
チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。
料金はご来場時にお支払いください。※予約受付は4月29日（水・祝）より
電話／0857-84-3268
ウェブ／www.birdtheatre.org
電子メール／ticket@birdtheatre.org

大人の方へ

子どもの物語に、どうしてやぎがひんぱんに登場するのだろうかと考えたのですが、弱さと強さの両側面をやぎは持っているからじゃないかというのが、とりあえずの私の結論です。草を食べる線の細い動物で、とりわけ仔やぎは小さくてかわいい。「アルプスの少女ハイジ」に出てくるユキちゃんという仔やぎがいますが、まさにああいう感じです。でも一方でツノに象徴される強さもあって、意外と荒々しい存在でもある。この両義性が、やぎの物語が子どもに愛される理由かもしれません。弱さは現在の自分の姿、強さはそうありたいあこがれ、目標です。

劇場という闇の中での体験は、子どもの魂の成長にとって特別な意味があると私は信じています。闇の中で架空の物語に出会い、登場するものに自分の今の姿を投影し、さまざまな体験を経て、象徴的な意味で現在の自分が一度死に、成長した姿で生き返るのです。大げさに聞こえるかもしれませんが、子どもの魂の死と生まれ変わりの場として、劇場の闇があるのです。今回のやぎの物語でも、子どもたちに感じてもらえることはたくさんあると思います。

演劇のこの象徴レベルでの役割は、大人にとってももちろん意味があることです、が、もう一つ大人にとってはうれしいことがあって、それは、子どもの声や息づかいの聞こえる空間で、同じものを見る喜びです。笑い声とか舞台へのツッコミとか、怖くて泣いちゃった泣き声など、子どもの多い客席ではいろいろが聞こえます。そういう空間にいると、社会ってのはこんなふうにゴチャゴチャしたもので、そのノイズを排除したがる昨今だけど、やっぱりそれはいいもんだよな、と思えます。みんながいっしょでないと楽しめないことがある、いっしょだから生まれる楽しいこともあるのだと、気づく機会になります。

ぜひ子どもたちと共に、劇場にお運びください。ここでしか体験できない豊かさをお感じいただけると思います。

鳥の劇場芸術監督　中島諒人

主催：特定非営利活動法人鳥の劇場
後援：鳥取県　鳥取市　鳥取県教育委員会　鳥取市教育委員会　NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会　鳥取大学地域学部附属芸術文化センター　新日本海新聞社　株式会社ふるさと鹿野
助成：文化庁　平成27年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業　公益財団法人福武財団　公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

- **送迎します** JR浜村駅と劇場との間を車で送迎いたします。（無料、要予約）
- **託児します** 小さいお子さまをお預かりします。（無料、要予約）
- **鳥のカフェがあります** 上演の前後にまる達さんによる淹れたてコーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。
- **バリアフリーをめざします** 障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡ください。
- **字幕あります** セリフが聞こえづらい方のために、手に持てる小さい"字幕"をご用意しております。

鳥の劇場へのアクセス

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1　電話：0857-84-3268

■JRを使って

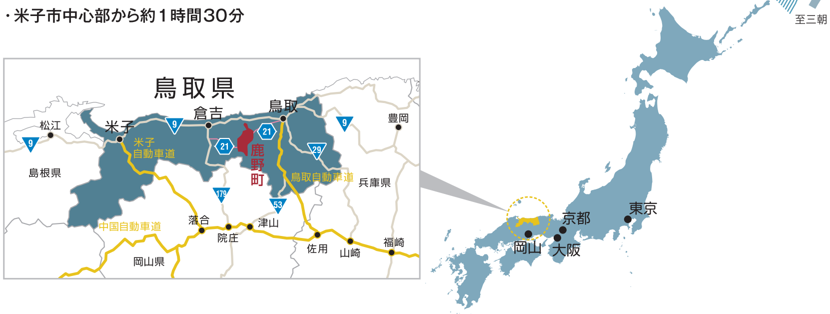
劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。※公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします（無料、要予約）。
□浜村駅まで　・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
□浜村駅から　・車で15分

■車を使って

公演日は会場近くに案内看板を設置します。
・鳥取自動車道、鳥取西ICから約30分
・鳥取空港から約20分
・鳥取市中心部から約30分
・倉吉市中心部から約45分
・米子市中心部から約1時間30分

※ご宿泊について

□山紫苑　0857-84-2211 www.sanshien.jp
□お宿夢彦　0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp
□旅風庵　0857-82-0531 www.ryofuan.com



□東京
飛行機　約1時間10分（羽田空港–鳥取空港）
JR　約5時間（東京駅–鳥取駅）

□京都
JR　約3時間（京都駅–鳥取駅）
車　約3時間（中国自動車道–鳥取自動車道）

□大阪
JR　約2時間30分（新大阪駅–鳥取駅）
車　約2時間30分（名神高速道路–中国自動車道–鳥取自動車道）

□岡山
JR　約2時間（岡山駅–鳥取駅）
車　約2時間30分（国道53号–鳥取自動車道）

東京・大阪・神戸・京都・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。

特定非営利活動法人鳥の劇場　ウェブサイト www.birdtheatre.org　電子メール info@birdtheatre.org　〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話・ファックス 0857-84-3268